

「令和4年度 クールジャパン官民連携プラットフォーム 活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」

事業報告書 詳細版

令和5年3月31日(金)

目次

第1章 事業概要	P3
(1) 本事業の推進方針	P4
(2) 本事業の目的・背景	P5
(3) 実施体制	P7
(4) 実施スケジュール	P8
第2章 実施業務詳細	P10
(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査	P11
CJPF AWARD	
① CJPF AWARD 企画概要	P13
② 対象事例の募集	P14
③ 審査員の依頼、審査会の実施	P26
④ 表彰式開催の告知	P34
⑤ 表彰式の実施	P37
⑥ 受賞者発表の広報	P45
CJPF ライブ	
① CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 — 「CJPFライブ」	P63
② 第1回CJPFライブ	P65
③ 第2回CJPFライブ	P69
④ 第3回CJPFライブ	P74
⑤ 第4回CJPFライブ	P80
(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務	P72
① CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査	P73
② CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装	P123
第3章 全体総括	P144
(1) 本事業の成果	P145
(2) 今後取り組むべき課題と施策	P146
APPENDIX	P167

第1章 事業概要

(1) 本事業の推進方針

- ◆ 本事業の調査目的を達成するため、実施にあたり、
「これまでのクールジャパン(CJ)の課題やCJ戦略再構築の観点、知的財産推進計画を理解し、本事業の実施内容に落とし込むこと」、
「昨年までの調査結果を活かし、“価値の発掘”から次のフェーズとなる“発信・共有”、“事業創造”に繋がるマッチングの強化まで想定した企画を行うこと」、
「CJPF主要メンバーや会員企業、その他新設されるCJプロデューサーとも連携し、CJPF全体としての機能の高度化を図ること」
の3点を重視して推進した。

本事業の調査目的

- 当調査は、CJPFの機能強化と新たな役割の実装に向けた運営機能の強化、及び実践的活動に向けた調査であり、これを通じてCJ戦略の再構築と評価検証に資するKGI/KPIを策定する為のモデルケースとする。

仕様書上の要件

- (1) CJPF事業における各種イベントの企画・運営・評価に関する調査
- (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務
 - CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査
 - CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデル)の運営と評価の実装
 - 打ち合わせ及び会議運営、各種報告書作成

評価基準で求められる主な要件

- 本事業の目的を理解し、各調査において実施可能で、かつ有益・独創的な(ユニークな視点)提案がなされているか
- 実績や専門知識が十分な人員体制であるか
- 中長期的な視点を踏まえてのKGI/KPI策定方針、及び次年度以降のCJPFの継続運営に資するアウトプットがなされているか
- 知的財産推進計画2023における戦略を前提とした提言となっているか

Point1

- これまでのCJの課題やCJ戦略再構築の観点、知的財産推進計画を理解し、本事業の実施内容に落とし込むこと

Point2

- 昨年度までの調査結果を活かし、“価値の発掘”から次のフェーズとなる“発信・共有”“事業創造”に繋がるマッチングの強化まで想定した企画を行うこと

Point3

- CJPF主要メンバーや会員企業、その他新設されるCJプロデューサーとも連携し、CJPF全体としての機能の高度化を図ること

(2) 本事業の目的・背景

- ◆ 本事業では、令和元年9月に決定された「クールジャパン戦略」、及び令和3年7月に決定された「クールジャパン戦略の再構築」に示される「クールジャパン官民連携プラットフォーム(以下CJPF)」が、期待される役割を果たすために必要なご提案・調査を推進した。

背景・方針

令和元年9月に決定された「クールジャパン戦略(以下 CJ 戦略)」1、及び令和3年7月に決定された「クールジャパン戦略の再構築」2より、我が国のブランド力再興に向けた取り組みの中心的役割を担うのが「クールジャパン官民連携プラットフォーム(以下 CJPF)」3である。

令和3年7月に決定された「知的財産推進計画2021」においては、CJ戦略の再構築が決定され、CJPFの新たな役割への期待も込められている。また、令和4年6月の「知的財産推進計画2022」では、CJPFの機能強化についても検討が行われている。

本事業は、上記内容を踏まえ、CJPFの機能強化と新たな役割の実装に向けた運営機能の強化、及び実践的活動に向けた調査であり、これを通じてCJ戦略の再構築と評価検証に資するKGI/KPIを策定する為のモデルケースとする。

クールジャパン戦略 1

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人(日本ファン)を増やすことで、日本のソフトパワーを強化する。

- ✓ 官民、地域間、異業種間の連携強化により幅広い日本の魅力を発掘し、磨き上げる。
- ✓ 地方や幅広い業種の関与を促す。
- ✓ ストーリー化、動画の活用等、デジタル時代に相応しい発信の工夫及び強化を行う。
- ✓ 外国人の目線を意識する。

クールジャパン戦略の再構築 2

コロナ後のクールジャパンを取り巻く「新たに重視する要素」「強化する要素」を加味する。

- 「新たに重視する要素」
 - ✓ 価値観の変化への対応
 - ✓ 「自然、エコ、SDGs、安全安心、衛生、健康等」の要素を取り入れ、ストーリー化して発信する。
 - ✓ 輸出とインバウンドの好循環の構築
 - ✓ アフターコロナを見据え 将来のインバウンドへ繋ぐ好循環を構築する。
 - ✓ デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの確立
- 「強化する要素」
 - ✓ 発信力
 - ✓ CJ戦略を支えるCJPFの機能強化

クールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF) 3

クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的とする。クールジャパンの様々な領域のなかで「食・食文化」を中心としたプロジェクト運営の分野から社会実装する。

- ✓ 地域性から生まれた文化が色濃く反映されている「食・食文化」をきっかけとして、多様な地域や関係者との連携、協力を得て取り組みを進める。
- ✓ 地域にある資源、作り手に光を当て、日本独自の魅力的なコンテンツとして磨き上げる活動を行う。上記を通じて、日本の各地域が世界から新たなディステーションとして認知され日本の活力を生み出す。
- ✓ 活動を通じて、環境先進国、エコ先進国、安全安心先進国、衛生先進国として日本のブランドイメージの確立を図っていく。

目的

方向性

先期までの各方針

(2) 本事業の目的・背景

◆ 前頁(P5)に加えて、令和4年6月に発表された、「知的財産推進計画2022」の内容を踏まえ、クールジャパンの再構築を推進した。

目的

クールジャパン戦略

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人(日本ファン)を増やすことで、日本のソフトパワーを強化する。

基本の強化方針

「食・食文化」を中心とした、日本の本質的な魅力の磨き上げ

(それを担う地域や幅広い業種も巻き込む)

「自然、エコ、SDGs、安全安心、衛生、健康」など価値観の変化に伴う、グリーン・シフトの取り入れ

作り手、官民、地域間、異業種間などの連携強化により幅広い日本の魅力を発掘

ストーリー化、デジタル時代に相応しい発信の工夫

+

令和4年6月に発表された、「知的財産推進計画2022」の内容を踏まえ新たに下記を強化し、ご提案。

知的財産推進計画2022

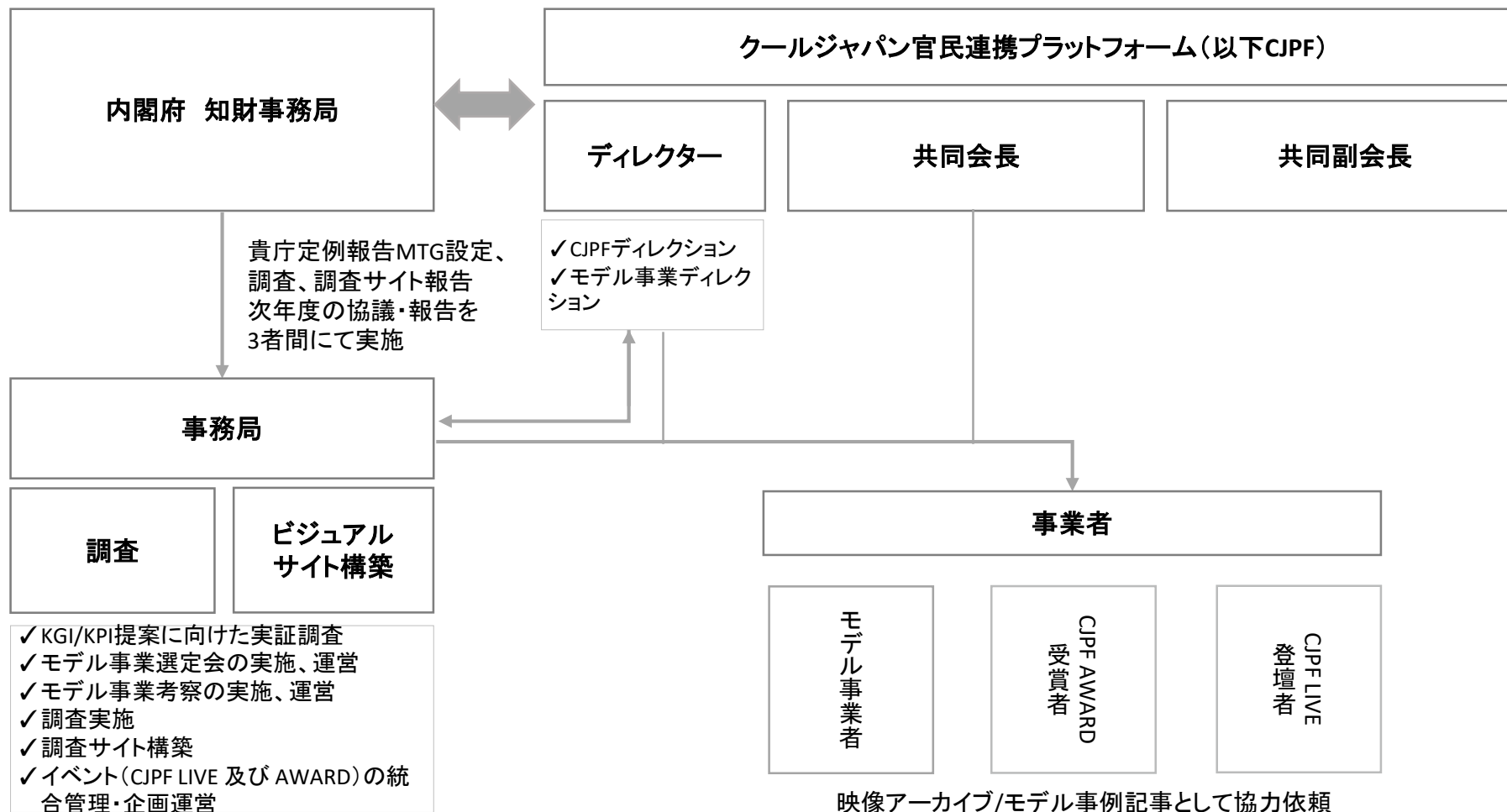
新たに重視するべき要素

- 1 **CJ関係者の強みと弱みの相互補完を目的とした、日本の知財の積極的な推進と活用**
地域連携、ブランド化、デジタル技術・テクノロジーの活用、海外マーケティング等、各専門の技術・知識を情報提供し、パートナー同士を繋いでいくことで、日本が持つ知財が積極的に磨かれ、発信できるような体制を検討してまいります。
- 2 **情報の相互発信による、CJPF関係者によるコミュニティの共創や、マッチングの強化**
スピーディな技術の社会実装を目的として、オープンイノベーションの促進に繋がるようなきっかけの場を企画します。CJPFが情報や交流のハブとなり、CJ関係者や各業界の事業者、外国人など、アフターコロナを見据え将来的にコミュニティ同士の共創や関係者のマッチングに繋げていきます。
- 3 **デジタル化に対応したコンテンツ・クールジャパン戦略の検討**
Web3.0の流れに対応した新しい形のメディア・コンテンツを意識し、コミュニケーションツール、デジタル技術の活用を積極的に取り入れてまいります。
- 4 **サステナビリティやSDGsの視点からの日本の魅力の磨き上げ**
令和3年度の調査分析において顕在化が確認された「サステナビリティ」、「自然との共生」、「循環型社会」、「健康」、「プラントベース」など世界的な意識の変容と関心度の向上も狙いとして、サステナブルな視点から日本の魅力を発信し世界から共感が得られるストーリーを醸成します。

(3)実施体制

令和4年度クールジャパン官民連携プラットフォーム事業の実施体制

- ◆ 以下体制にて、令和4年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び、モデル事業調査事業、調査ウェブサイト構築、CJPF LIVE 及び AWARD運営を実施した。



(5)実施スケジュール

- ◆ 具体的に以下スケジュールにて、令和4年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び調査事業を実施した。

		2022年												2023年					
		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
大項目	中項目	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価の調査	①イベントの企画運営 ・CJPFライブ	実施	テーマ	設計・準備		ライブ	設計・準備		ライブ	設計・準備	ライブ	CJPF AWARD連携・準備						ライブ	報告書作成、提出
	方針	確定	設計・準備		第1回	設計・準備		第3回	第3回	第3回	CJPF AWARD連携・準備						第4回		
	合意				9月1日			11月10日		12月10日							.		
	①イベントの企画運営 ・CJPF AWARD	形成	取り組みテーマ候補の事前調査審査要項策定		方針	告知Web	告知・募集		策定	作成	事務局審査		書類審査	審査会	準備		表彰式	3月9日	
	②各イベントについてKGI/KPIの設定、評価、報告	ベース調査実施		方針合意		ライブ	振返り・検証		ライブ	振返り・検証	ライブ	振返り・検証		最終					
	③各種イベントの連携の提言、支援	各タスク準備・連携支援		方針合意		第1回	各タスク準備 連携支援		第2回	各タスク準備 連携支援		第3回	各タスク準備 連携支援						

(5)実施スケジュール

◆ 具体的に以下スケジュールにて、令和3年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び調査事業を実施した。

		2022年										2023年								
		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
大項目	中項目	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	
②CJPF事業における調査・実装、運営・評価に関する業務	①CJPF事業におけるKGI/KPI調査	各PJ候補のKGI/KPI仮説作成、今年度計画策定		方針合意		計画に基づいて調査事業推進						分析	追加調査・分析				分析	調査サイト		報告書作成、提出
	②CJPFにおけるCJプロジェクト運営による評価項目の実装・CJプロジェクトの管理運営	PJ候補の選定	合意形成	各地域への現地訪問・コンテンツ制作						取材 ①伊根町 ②美山荘 ③気仙沼 ④今田酒造 ⑤瀬戸内醸造所	準備		取材 ⑥金沢まいもん寿司	取材 ⑦薩摩焼酎	取材 ⑧球磨焼酎	取材 ⑨隠岐諸島				
	③打ち合わせ及び会議運営各種報告書作成	選定会	取材依頼	各プロジェクトが始動したら随時																
	②CJPFにおけるCJプロジェクト運営による評価項目の実装「cjpg.jp」の管理運営	サイトコンテンツ、デザイン設計	方針合意	サイト構築	テストサイト確認	サイト更新・各調査事業毎に常時反映														
		準備						中間報告								準備		最終報告		

第2章 実施業務詳細

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

- ① CJPF AWARD
- ② CJPF ライブ

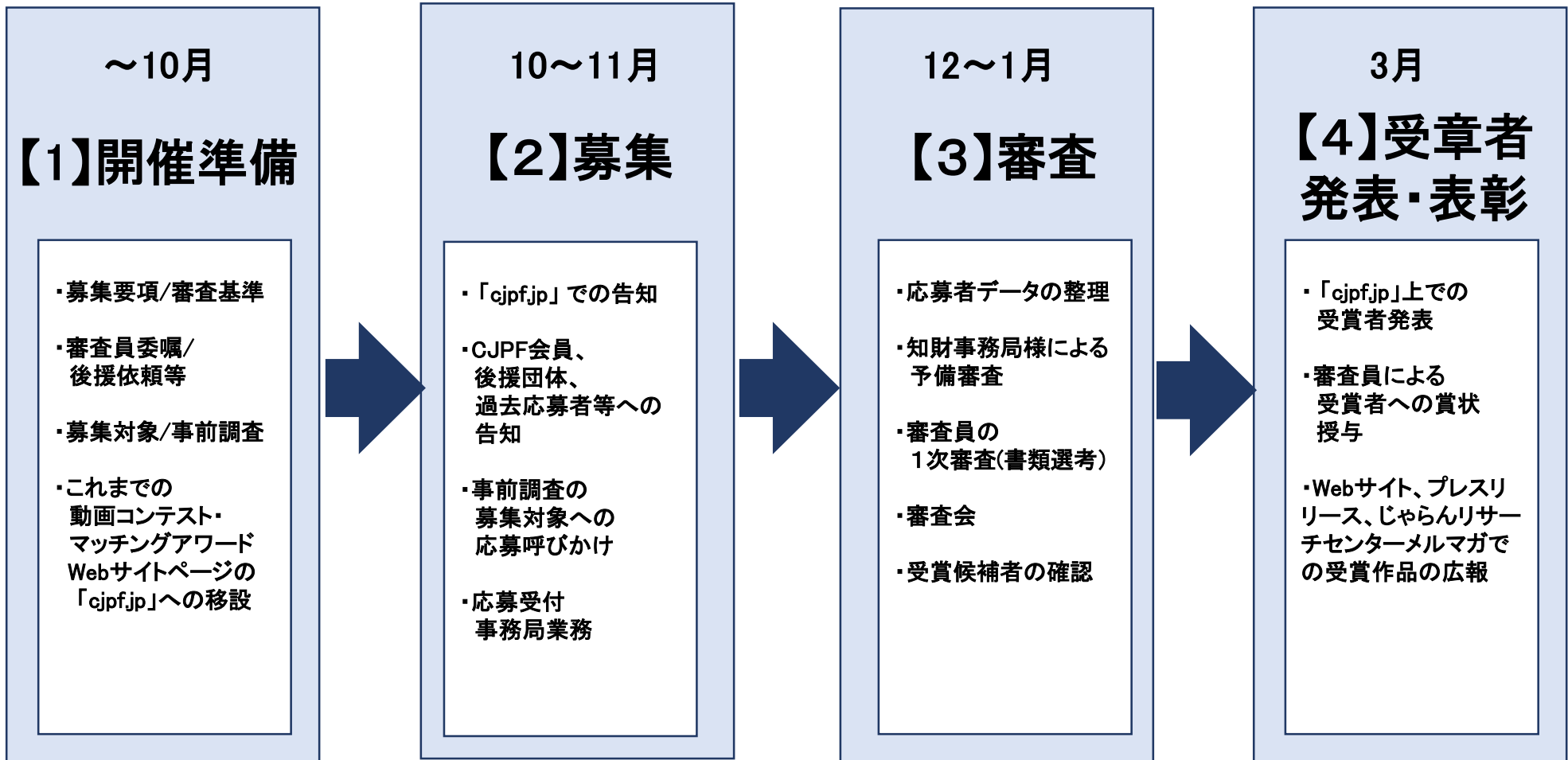
(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

CJPF AWARD

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPF AWARD 企画概要

- ◆ 令和4年度 クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る対象事例の収集、募集及び表彰式等の実施業務において、以下の企画及び実施を行った。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 - 1、対象事例の募集、応募の促進

- 令和4年度 クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る実施業務において、対象事例の募集を行うため、アワードのタイトル、主旨文、募集要項等の作成を行った。WEBサイトは全体を英語に対応させた。

【1】対象事例募集の要項等の作成

1	タイトル クールジャパン・プラットフォームアワード2023(CJPF AWARD2023)
2	主旨文 アフターコロナの世界に向けて、日本の魅力を発信するクールジャパンの取組を募集。「ムービー(動画)」と「プロジェクト(事業)」の2部門のグランプリを選出、表彰。 ※旧「クールジャパン動画コンテスト」と旧「クールジャパン・マッチングアワード」を統合して、CJPFアワードとして開催します。
3	開催趣旨 アフターコロナの世界に向けて、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光、コンテンツ、ものづくり、最先端のデジタル技術まで、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして発信し、日本のファンコミュニティを広げていくことが求められています。※1 CJPFアワード2023は、日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)と日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開するプロジェクト(事業)を募集し、表彰します。※2 これにより、新しいスタイルが広がる世界に向けたクールジャパンの智恵や実績が結集・共有され、マッチングの拡大、クールジャパンの取組が推進することを期待します。 ※参照1:「クールジャパン戦略(以下CJ戦略)」(2019年9月決定)「知的財産推進計画2021」における「クールジャパン戦略の再構築」(2021年7月決定)「知的財産推進計画2022」における「アフターコロナを見据えたクールジャパンの再起動」(2022年6月決定) ※参照2:クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的として、「クールジャパン官民連携プラットフォーム」が2015年12月に官民・異業種連携の強化を図る場として設立されました。現在、コンテンツ企業や食品産業など様々な民間企業等が会員となっており、会員間やクールジャパン関係者とのマッチングを図り、新しい価値を創ったり、魅力を磨き上げることが求められています。2021年6月に開催された総会において、クールジャパンの様々な領域のなかでも、当面の活動として、「食・食文化」を中心としたプロジェクト運営などの方向性が示されました。
4	募集案内 CJPFアワード 2023 は、ムービー(動画)部門、プロジェクト(事業)部門の募集、表彰を行います。 ムービー部門は、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめ上げて日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)、プロジェクト部門は、事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト(事業)を募集します。 応募の中から、「クールジャパン戦略」の取組としてふさわしい動画や事業を、それぞれ選出し、表彰します。選考はクールジャパン官民連携プラットフォームの共同会長、有識者、日本の魅力に理解が深い外国人等の審査員が行います。 賞は、各部門それぞれにグランプリ(1件程度)、準グランプリ(1~2件程度)、入賞を予定しています。また、ムービー部門については、内閣官房国際博覧会推進本部事務局と連携し、大阪・関西万博特別賞を予定しています。いずれの賞についても、2023年3月に受賞の発表、贈賞を行います。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー1、対象事例の募集、応募の促進

5

CJPF AWARDに関するお問い合わせ
CJPF AWARD 2023事務局
担当:北、野木、小野打(おのうち)、長谷川、芦川
TEL:03-5544-9713 FAX:03-5544-9714
E-mail:cjpfa2023@cjma.go.jp

6

主催
クールジャパン官民連携プラットフォーム
クールジャパン官民連携プラットフォーム(事務局:内閣府知的財産戦略推進事務局)平成27年12月に、官民・業種の垣根を超えた連携を行いクールジャパン戦略を推進するために設立。現在、17の関係府省・関係機関、128の民間団体・民間企業・機関・個人が参加。各種情報共有やビジネスプロジェクト組成を後押ししています。